



全日本スキー連盟A級公認・サンピラー国体記念第5回サマージャンプ大会が、日進にあるのピヤシリシャンツェのノーマルヒルで開かれ、女子17人、少年54人、成年39人が出場しました。好天に恵まれたものの風が強いコンディションの中、成年の部は伊東大貴選手が優勝し2連覇。2位岡部孝信選手、3位葛西紀明選手が入賞し、下川町出身の選手が表彰台を制しました。また、女子の部は山田いずみ選手が優勝、5連覇を果たしました。

## 7/29 第5回サマージャンプ大会

## 8/6 沿道から歓声 パフォーマンスを披露



昭和29年の仮装パレードに始まった「北のカーニバル」は、今年、54回目を迎えて「てっし名寄まつり」の最後を飾ります。南5丁目から6丁目の沿道には多くの市民がつめかけ、出場した10チームに声援を送っていました。人気アニメを演じたチーム、常連チームの見事な演技のほかよさこいソーラン、名寄太鼓、名寄駐屯地朔北太鼓や名寄駐屯地音楽隊の演奏が行われ盛大な拍手がおこっていました。

## 7/29 てっし名寄まつり 夏を楽しむ

毎年、多くの市民で賑わうてっしフェスティバル。天塩川曙橋下流河川敷の特設ステージでは、道北チアリーディングクラブ「Viva Crow Jr」などによるチアリーディング、北鼓友なよると北鼓童なよるによるよさこい踊りのほかロックバンドの「ZIGGY」ライブコンサートなど多彩なステージが



用意され、締めくくりとなる恒例の花火大会では約1,500発の音と光の競演に大きな歓声が上がっていました。

# まちの話題

## 8/12・13 風連ふるさとまつり 夏の夜を彩る風舞あんどん



今年で29回目となった風連ふるさとまつりは、12日に風連商工会館前で前夜祭がスタート。よさこいや阿波踊りなどの披露、人情ふれあい盆踊りが行われました。

翌13日の本祭は、市役所風連庁舎と西町公園を会場に特産物の販売、もちつき・もちまきなどが行われ大勢の市民などで賑わいを見せました。まつりのメイン「風舞あんどんオン・エア」では、色鮮やかな風舞あんどん22基が太鼓や笛などの音色とともに市街地を練り歩き、沿道に集まった観衆を魅了しました。



市立名寄図書館の自動車文庫「やまゆり号」が新しくなり、市内を巡回しています。

この日、関係者が見守る中、同館の前で出発式が行われ早速風連地区へと向かいました。「やまゆり号」の更新は22年ぶり。新しくなった「やまゆり号」には約3000冊の蔵書が常備され、毎回多くの市民の方に利用されています。巡回日程は、広報なよろの「まなびの部屋」で毎月お知らせしています。



## 8/7 新やまゆり号出発 装いを新たに

## 8/16・17 市民納涼盆踊り大会

昭和46年から毎年行われている市民納涼盆踊り大会が南広場で開催されました。15日まで続いていた暑さとは違い、肌寒い天候となりましたが、踊り手と観衆合わせて約2,800人が集まりました。

広場の中央に設置されたやぐらを中心に、まず行われたのは「ちびっこ集まれ！子ども盆踊り」。子どもも大人も一緒になり、太鼓の音に合わせて笑みを浮かべながら踊っていました。

仮装盆踊りでは、団体の部に7組、個人の部に13人が出場しました。それぞれ趣向を凝らした衣装などで会場を盛り上げるなど、過ぎ行く夏のひとときを楽しく過ごしました。